

開示事項 (※1)	SDGsとの対応関係 (※2)	ページ	CONTENTS
GRI101: 基礎 2016			
GRI102: 一般開示項目 2016			
組織のプロフィール			
102-1	組織の名称	06	組織のプロフィール
102-2	活動、ブランド、製品、サービス	04-05, 06, 10, 11, 12-13, 14-15	北海道大学2021ハイライト, 組織のプロフィール, 認定・プロジェクト・採択, 研究・教育, サステナビリティ活動, サステナブルキャンパスマネジメント本部の 活動とWGの取り組み
102-3	本社の所在地		
102-4	事業所の所在地		
102-5	所有形態および法人格	06	組織のプロフィール
102-6	参入市場		
102-7	組織の規模		
102-11	予防原則または予防的アプローチ	16-17	ガバナンス・コンプライアンスの強化
戦略			
102-14	上級意思決定者の声明	02-03	トップメッセージ
102-15	重要なインパクト、リスク、機会	04-05, 10, 11, 12-13, 14-15	北海道大学2021ハイライト, 認定・プロジェクト・採択, 研究・教育, サステナビリティ活動, サステナブルキャンパスマネジメント本部の 活動とWGの取り組み
倫理と誠実性			
102-16	価値観、理念、 行動基準・規範	16	08, 09 基本理念・戦略, サステナビリティに関する方針・施策
102-17	倫理に関する助言および 懸念のための制度	16	16-17 ガバナンス・コンプライアンスの強化
ガバナンス			
102-18	ガバナンス構造	16-17	ガバナンス・コンプライアンスの強化
102-19	権限移譲		
102-20	経済、環境、社会項目に関する 役員レベルの責任	07	サステナビリティ推進体制
102-21	経済、環境、社会項目に関する ステークホルダーとの協議	5 16	20-22 ステークホルダー座談会
102-22	最高ガバナンス機関および その委員会の構成	16	
102-23	最高ガバナンス機関の議長	16	16-17 ガバナンス・コンプライアンスの強化
102-24	最高ガバナンス機関の指名と選出	5 16	
102-25	利益相反	16	
102-26	目的、価値観、戦略の設定における 最高ガバナンス機関の役割	07	サステナビリティ推進体制
102-27	最高ガバナンス機関の集会的知見	08	基本理念・戦略
102-28	最高ガバナンス機関の パフォーマンスの評価	18-19	サステナブルキャンパスのマネジメント手法
102-29	経済、環境、社会への インパクトの特定とマネジメント	16	18-19, 20-22 サステナブルキャンパスのマネジメント手法, ステークホルダー座談会
102-30	リスクマネジメント・プロセスの有効性	16-17	ガバナンス・コンプライアンスの強化
102-31	経済、環境、社会項目のレビュー	18-19	サステナブルキャンパスのマネジメント手法
102-32	サステナビリティ報告における 最高ガバナンス機関の役割	38-39	編集方針について
102-33	重大な懸念事項の伝達	16-17	ガバナンス・コンプライアンスの強化

開示事項 (※1)	SDGsとの対応関係 (※2)	ページ	CONTENTS
ステークホルダーエンゲージメント			
102-43	ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ方法	20-22	ステークホルダー座談会
102-44	提起された重要な項目および懸念		
報告義務			
102-45	連結財務諸表の対象になっている事業体	38-39 裏表紙	編集方針について、 奥付
102-46	報告書の内容および項目の該当範囲の確定		
102-48	情報の再記述		
102-49	報告における変更		
102-50	報告期間		
102-51	前回発行した報告書の日付		
102-52	報告サイクル		
102-53	報告書に関する質問の窓口		
102-54	GRIスタンダードに準拠した報告であることの主張		
102-55	内容索引		
102-56	外部保証	38-39	編集方針について
マネジメント手法			
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	18-19	サステイナブルキャンパスのマネジメント手法
103-2	マネジメント手法とその要素		
103-3	マネジメント手法の評価		
マテリアルな項目			
GRIスタンダード 200シリーズ (経済項目)			
経済パフォーマンス 2016			
201-1	創出、分配した直接的経済価値	8 9	23 2021年度の財務構造と収支の推移
201-4	政府から受けた資金援助		
地域経済での存在感 2016			
間接的なインパクト 2016			
203-1	インフラ投資および支援サービス	5 9 11	24, 25 地域への貢献、地域との連携、インフラ投資と調達に関する取り組み
203-2	著しい間接的な経済的インパクト	1 3 8	10, 12-13, 18-19, 24 認定・プロジェクト・採択、サステナビリティ活動、サステイナブルキャンパスのマネジメント手法、地域への貢献、地域との連携
調達取引 2016			
204-1	地元サプライヤーへの支出の割合	8	25 インフラ投資と調達に関する取り組み
腐敗防止 2016			
205-1	腐敗に関するリスク評価を行っている事業所	16	16-17 ガバナンス・コンプライアンスの強化
205-2	腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションと研修	16	
反競争的行為 2016			
税務 2019			
GRIスタンダード 300シリーズ (環境項目)			
原材料 2016			
301-2	使用したりリサイクル材料	8 12	32-33 廃棄物/資源循環
301-3	再生利用された製品と梱包材	8 12	25, 32-33 インフラ投資と調達に関する取り組み、廃棄物/資源循環
エネルギー 2016			
302-1	組織内のエネルギー消費量	7 8 12 13	26, 28 環境への取り組み、エネルギー消費量と再エネ発電の取り組み

開示事項 (※1)	SDGsとの対応関係 (※2)	ページ	CONTENTS
302-3 エネルギー原単位	7 8 12 13	26, 28	環境への取り組み, エネルギー消費量と再生エネルギーの取り組み
302-4 エネルギー消費量の削減	7 8 12 13	27, 28	省エネルギーの取り組み, エネルギー消費量と再生エネルギーの取り組み
302-5 製品およびサービスのエネルギー必要量の削減	7 8 12 13		
水と排水 2018			
303-1 共有資源としての水との相互作用	6 12	30-31	生物多様性/水と排水
303-2 排水に関連するインパクトのマネジメント	6	30-31, 34	生物多様性/水と排水, 環境コンプライアンス
303-3 取水	6	26, 30-31	環境への取り組み, 生物多様性/水と排水
303-4 排水	6		
303-5 水消費	6		
生物多様性 2016			
304-1 保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、貸借、管理している事業サイト	6 14 15	30-31	生物多様性/水と排水
304-2 活動、製品、サービスが生物多様性に与える著しいインパクト	6 14 15		
304-3 生息地の保護・復元	6 14 15		
304-4 事業の影響を受ける地域に生息するIUCNレッドリストならびに国内保全種リスト対象の生物種	6 14 15		
大気への排出 2016			
305-1 直接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ1)	3 12 13 14 15	26, 29	環境への取り組み, 温室効果ガス排出と、研究林の活用によるCO2吸収の取り組み
305-2 間接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ2)	3 12 13 14 15		
305-4 温室効果ガス (GHG) 排出原単位	13 14 15	27, 29	省エネルギーの取り組み, 温室効果ガス排出と、研究林の活用によるCO2吸収の取り組み
305-5 温室効果ガス (GHG) 排出量の削減	13 14 15		
排水および廃棄物 2016			
306-1 排水の水質および排出先	3 6 12 14	26, 30-31	環境への取り組み, 生物多様性/水と排水
306-2 種類別および処分方法別の廃棄物	3 6 12	26, 32-33, 34	環境への取り組み, 廃棄物/資源循環, 環境コンプライアンス
306-4 有害廃棄物の輸送	3 12	34	環境コンプライアンス
環境コンプライアンス 2016			
307-1 環境法規制の違反	16	34	環境コンプライアンス
サプライヤーの環境面のアセスメント 2016			
308-1 環境基準により選定した新規サプライヤー		25	インフラ投資と調達に関する取り組み
308-2 サプライチェーンにおけるマイナスの環境インパクトと実施した措置			
GRIスタンダード 400シリーズ (社会項目)			
雇用 2016			
労使関係 2016			
労働安全衛生 2018			
403-1 労働安全衛生マネジメントシステム	8	36-37	ダイバーシティ&インクルージョン/研修と教育/安全衛生/先住民
403-2 危険性 (ハザード) の特定、リスク評価、事故調査	8		
403-3 労働衛生サービス	8		

開示事項 (※1)	SDGsとの対応関係 (※2)	ページ	CONTENTS
403-4 労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション	8 16	36-37	ダイバーシティ&インクルージョン/研修と教育/安全衛生/先住民
403-5 労働安全衛生に関する労働者研修	8		
403-6 労働者の健康増進	8		
403-7 ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と緩和	3		
403-8 労働安全衛生マネジメントシステムの対象となる労働者	8		
研修と教育 2016			
404-2 従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	8	36-37	ダイバーシティ&インクルージョンI/研修と教育/安全衛生/先住民
ダイバーシティと機械均等 2016			
405-1 ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ	5 8	36-37	ダイバーシティ&インクルージョン/研修と教育/安全衛生/先住民
非差別 2016			
結社の自由と団体行動 2016			
児童労働 2016			
強制労働 2016			
保安取行 2016			
先住民族の権利 2016			
411-1 先住民族の権利を侵害した事例	2	36-37	ダイバーシティ&インクルージョン/研修と教育/安全衛生/先住民
人権アセスメント 2016			
地域コミュニティ 2016			
413-1 地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所		24, 35	地域への貢献、地域との連携、社会連携
サプライヤーの社会面のアセスメント 2016			
414-1 社会的基準により選定した新規サプライヤー	5 8 16	25	インフラ投資と調達に関する取り組み
公共政策 2016			
顧客の安全衛生 2016			
マーケティングとラベリング 2016			
顧客プライバシー 2016			
経済社会面のコンプライアンス 2016			

※1 GRIスタンダードの開示事項の内、本レポートで扱っていない項目は本表から省略しております。

※2 GRIスタンダードの開示事項と対応関係があるとされるSDGsのゴールを数字で記載しております。
参考文献) Linking the SDGs and the GRI Standards (GRI, 2022)